

<目次>

I. 調査概要	1
1. 本調査の背景・目的	2
2. 調査対象および回収数	2
3. 調査方法	3
4. 調査内容	3
5. 調査期間	3
6. 調査機関	3
7. 報告書の見方	4
II. 回答者のプロフィール	5
III. 調査結果	9
1. “旅行や観光（仕事等除く）”で行先を探す際や検討する際の情報源	10
2. “旅行や観光（仕事等除く）”で旅行中に情報を得る手段	12
3. ふだん、“旅行や観光（仕事等除く）”に出かける目的	14
4. ふだん、“旅行や観光（仕事等除く）”に出かける頻度	16
5. ふだん、“旅行や観光（仕事等除く）”に出かける際の交通手段	18
6. ふだん、“旅行や観光（仕事等除く）”に出かける際の最も多い同行者	20
7-①. 知っている“東北の観光地”	22
7-②. 行ったことがある“東北の観光地”	25
7-③. 今後、行きたい“東北の観光地”	28
7-④. お薦めしたい“東北の観光地”	31
8-①. 知っている“東北の祭り・イベント”	35
8-②. 行ったことがある“東北の祭り・イベント”	38
8-③. 今後、行きたい“東北の祭り・イベント”	41
8-④. お薦めしたい“東北の祭り・イベント”	44
9. 今後、東北の中で、宿泊を伴う旅行で行ってみたい旅行先（県）	48
10. 今後、国内の宿泊を伴う旅行で行ってみたい旅行先（地域）	52
IV. “東北の観光地”と“東北の祭り・イベント”の考察	55
1-①. 知っている“東北の観光地”	56
1-②. 行ったことがある“東北の観光地”	57
1-③. 今後行きたい“東北の観光地”	58
1-④. お薦めしたい“東北の観光地”	59
2-①. 知っている“東北の祭り・イベント”	60
2-②. 行ったことがある“東北の祭り・イベント”	61
2-③. 今後行きたい“東北の祭り・イベント”	62
2-④. お薦めしたい“東北の祭り・イベント”	63
【参考1】各県から各県への観光地、祭り・イベント訪問状況	64
3. 問9. 今後、東北の中で、宿泊を伴う旅行で行ってみたい県	65

4. 集客力ポジショニングマップ	66
i. 観光地①知っている×③今後行きたい	66
ii. 観光地②行ったことがある×③今後行きたい	67
iii. 祭り・イベント①知っている×③今後行きたい	68
iv. 祭り・イベント②行ったことがある×③今後行きたい	69
V. 各設問「その他」の回答内容	71
付. 調査票	73

I . 調査概要

I. 調査概要

1. 本調査の背景・目的

一般社団法人地域創生協議会では、東北・仙台地域における産業・経済・社会・文化等の分野において、調査研究による原状分析・課題抽出・データに基づく政策立案(EBPM)を行い、課題解決(ソリューション)までを一貫大切に支援し、新しい東北・仙台地域の創生に寄与するため活動を展開している。

近年、インバウンドの重要性が叫ばれているが、宮城県内の観光地点への来訪者の約7割が東北地域からの来訪者であることが判明していることから、足元の東北地域の住民の観光に対する意識・実態を検証することが重要であるといえる。

こうした状況下、本調査は、東北6県の住民を対象に、旅行先に関する情報源、旅行の目的、旅行頻度、同伴者、交通手段、さらには、東北地域の【観光地】、【祭りやイベント】の認知状況・訪問経験・訪問意向・推奨先等を客観的に検証し、各自治体や関係機関の皆様が、今後の観光客獲得に向けた広報・PR活動等の観光戦略につなげることを目的に実施したものである。

この、東北の住民における「東北地域の観光に関する調査」報告書のデータは、少子高齢化社会の急速な進展で、人口減少傾向が顕著となり、地域社会の経済や産業に及ぼす多大な影響が懸念される中、地域社会活性化の方法として重視されている「観光」による交流人口の増加に視点を当てたものである。

2. 調査対象および回収数

○調査対象者：東北6県に居住する当協議会の消費者モニター900人

○回収状況：令和元年9月：対象数900サンプル、回収数900サンプル、回収率100.0%

<調査対象者>

県	合計	男性					女性				
		20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代
青森県	150	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
岩手県	150	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
秋田県	150	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
宮城県	150	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
山形県	150	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
福島県	150	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
合計	900	90									

3. 調査方法

- アンケート調査（訪問留置・訪問回収法）

4. 調査内容

< “旅行や観光（仕事等除く）” について >

- “旅行や観光（仕事等除く）” で行先を探す際や検討する際の情報源
- “旅行や観光（仕事等除く）” で旅行中に情報を得る手段
- “旅行や観光（仕事等除く）” に出かける目的
- “旅行や観光（仕事等除く）” に出かける頻度
- “旅行や観光（仕事等除く）” に出かける際の交通手段
- “旅行や観光（仕事等除く）” に出かける際の最も多い同行者

< 「東北の観光地」について >

- 知っている “東北の観光地”
- 行ったことがある “東北の観光地”
- 今後行きたい “東北の観光地”
- お薦めしたい “東北の観光地”

< 「東北の祭り・イベント」について >

- 知っている “東北の祭り・イベント”
- 行ったことがある “東北の祭り・イベント”
- 今後行きたい “東北の祭り・イベント”
- お薦めしたい “東北の祭り・イベント”
- 今後、東北の中で、宿泊を伴う旅行で行ってみたい旅行先（県）
- 今後、国内で、宿泊を伴う旅行で行ってみたい旅行先（地域）

< プロフィール >

- 性別
- 年代
- 居住地域

5. 調査期間

- 令和元年9～10月

6. 調査機関

- 調査企画実施：一般社団法人地域創生協議会

7. 報告書の見方

■報告書の見方

集計分析の方法は、基本的に下記の①～②の通りである。

①単純集計

各設問に対する回答項目別回答件数を単純集計し、全回答件数に占める比率（構成比）を求め、回答者が2つ以上の回答をすることができる設問では、回答件数の合計は回答者数（100.0%）を超える。

②クロス集計

2つの質問項目を“クロス”させて表を作成し、相互の関係を明らかにするための集計方法。属性ごとの特徴や質問間の相互関係を確認することができる。

■記号の説明

報告書の記号については、下記の通りである。

n⇒Number of cases の略。比率算出の基数であり、100%が何人の回答に相当するかを示す。

■標本誤差について

nが小さい場合は、*標本誤差が大きくなるので注意を要する。

また、「Ⅲ. 調査結果」のクロス集計表について、性別、年代別、地域別におけるサンプル数が100人未満の場合は、標本誤差が大きくなるため、注意を要する。

<参考>

* 標本誤差とは、今回のように全体（母集団）から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を算出したのが、下記の表である。本調査での設問の回答者総数（n=900人）を100%とする比率について、ある設問中の選択肢の回答比率（認知率等）が50%であった場合、その回答比率には±3.3%程度の誤差がありうる。

つまり、本当の比率は46.9%（50.0-3.3）～53.1%（50.0+3.3）の間にあると考えられる。（ただし、信頼度は95%なので、そのように判断して、95%は間違いはないという意味である。）

また、標本誤差は、次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（P）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

① n=標本数
② P=回答比率

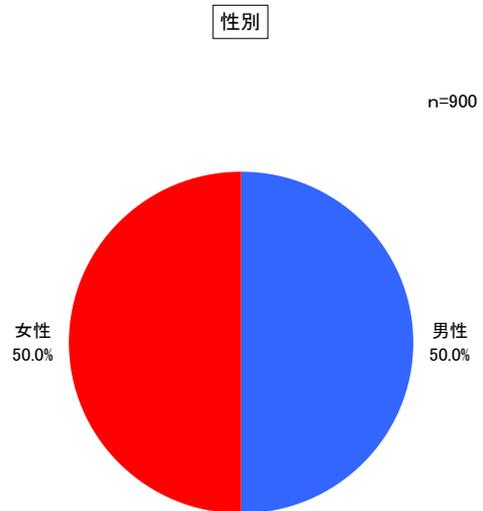
n \ P	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
900	±2.0	±2.6	±3.0	±3.2	±3.3
800	±2.1	±2.8	±3.2	±3.4	±3.5
500	±2.6	±3.5	±4.0	±4.3	±4.4
200	±4.2	±5.5	±6.4	±6.8	±6.9
150	±4.8	±6.4	±7.3	±7.8	±8.0
90	±6.2	±8.3	±9.5	±7.8	±10.3

Ⅱ. 回答者のプロフィール

Ⅱ. 回答者のプロフィール

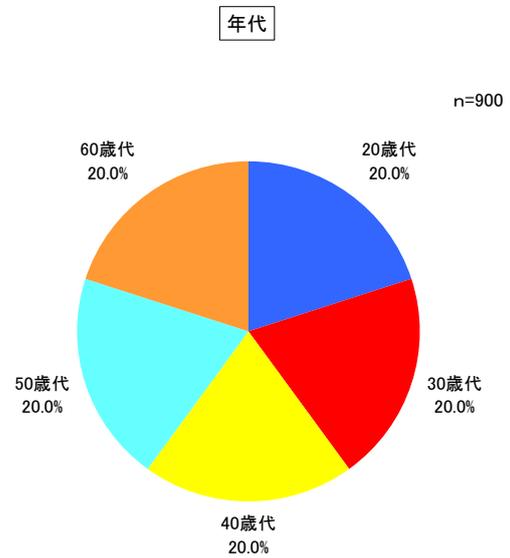
1. 性別

No.	カテゴリ	%	件数
1	男性	50.0	450
2	女性	50.0	450
	n (%ベース)	100.0	900



2. 年代別

No.	カテゴリ	%	件数
1	20歳代	20.0	180
2	30歳代	20.0	180
3	40歳代	20.0	180
4	50歳代	20.0	180
5	60歳代	20.0	180
	n (%ベース)	100.0	900



3. 地域別

No.	カテゴリ	%	件数
1	青森県	16.7	150
2	岩手県	16.7	150
3	秋田県	16.7	150
4	宮城県	16.7	150
5	山形県	16.7	150
6	福島県	16.7	150
	n (%ベース)	100.0	900



4. 職業

No.	カテゴリ	%	件数
1	会社員	47.3	426
2	公務員・団体職員	10.4	94
3	商工自営業	7.3	66
4	自由業(医者、弁護士等)	2.8	25
5	農林漁業	0.7	6
6	主婦(パート含む)	16.0	144
7	アルバイト	5.6	50
8	学生	4.3	39
9	無職	4.8	43
10	その他	0.8	7
	n (%ベース)	100.0	900

